

				科目コード	446
科目名	臨床実習Ⅲ (Clinical Practice Ⅲ)			開講学科	臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	7 単位 (315時間)	履修時期	4 年次前期
担当教員	臨床検査学科全教員			科目区分	専門科目
実習目的	<p>大学内での講義および実習を通して学んだ知識・技術を基に臨床検査総論、病理組織細胞学、生理機能検査学、臨床化学、臨床血液学、臨床免疫学、臨床微生物学の7科目について、実際に医療の現場で行われている臨床検査技術を習得するとともに、診療側に提供する臨床検査データの意義を理解し、病態解析のアプローチについての意識を身につけさせる。さらに、診療部門との連携やチーム医療を理解させるとともに、患者と接する際の心がまえを習得させる。</p>				
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 臨床各科の患者から提出される各種検体の取り扱いおよび臨床検査の実際を習得する。 2 検査結果の判定および報告の実際を習得する。 3 検査終了後の試料の処理、器具および機器の整備の実際を習得する。 4 大学内において実習できなかった検査および特殊な検査について習得する。 5 自動分析機器の作動原理を理解し、取り扱いおよび保守管理を習得する。 6 患者から得られる臨床検査データが診療側(臨床側)にとっていかに大切であるのかを理解し、臨床検査全体の精度保証についての重要性と秘守義務を認識する。 7 疾患に関心をもち、臨床検査データからの病態解析のアプローチについての意識を身につける。 8 患者を中心とした医療を提供することの重要性を認識し、他の医療職種の業務を理解するとともに専門家としての臨床検査技師の役割と責任を理解すること、そして医療チームの一員であることの自覚と、医療人としての将来の自らあるべき姿を明確にできる能力を身につける。 9 臨床検査部門の組織を知るとともに、臨床各科、輸血部、放射線部、看護部、薬剤部、事務部などの関係について理解を深める。 10 医療現場において患者の複雑な心理状態を理解し相手にやさしく接することができるように努力する態度を身につける。 				

実 習 内 容

臨床検査総論、病理組織細胞学、生理機能検査学、臨床化学、臨床血液学、臨床免疫学、臨床微生物学の7科目において、実際に医療の現場で行われている臨床検査技術を修得するとともに総合的に臨床検査データの管理や見方について学ぶ

さらに病院における臨床検査技師の役割と責任を知るとともにチーム医療の一員であることの自覚と医療人としての見識を養う

- 実習施設
- ① 愛媛県立中央病院
 - ② 愛媛大学医学部附属病院
 - ③ 国立病院機構四国がんセンター
 - ④ 松山赤十字病院

成績評価方法	実習の評価項目及び実習記録を基に評価する。 (評価項目等の詳細は実習要項に示す)
教科書	
参考図書等	
備考	十分な実習内容の予習・復習をすること。